

午後1時〜午後3時
(社会部・衛生課)

愛をおしひろめて他人に對し、親子の愛をもつて処世の道とし、さうして自らを政治の基、**中野**の祥雲寺にあります。
孝経碑の文字は、**巢鴨**学園教授

で、仲間まじく遊べたということだげもよい」と、建盛時もらしていたそうです。

終戦後、家族

鴨学園(兼鴨幼稚園)現在の東経緯
 済大学を創設、
 社会学者、教育
 者として名出を
 博した人ですが
 幼少のころ父に
 市上りし、養育



切なと、著の大なることを説いたもので、博士は「この碑がたとえ全部の人に判らなくとも、近所の子供が、この碑のあたり

旧前橋藩主塙暲十次郎の長男として生まれ、桃井小学校、前橋中学校を経て明治32年東大文科（社会学専攻）を卒業、のち京都大学教授となり、明治41年日本社会学研究所を立ち、社会学者の組織化の所をもち、社会学者の組織化の

孝経の全書をここに注釈することとは旨意でありませんが、第一章に「身体髮膚之を父母に受て、敢て毀傷せざると、之れ孝の始めなり。身を孝と道を行ない、名を後世に傳へ、以て父母を顯わす

博士が昭和9年に、神門町61番地の旧居の、道沿に面した一角を削いて建設し、終戦後、昭和26年2月、現在のとこに移されたもので、碑固は古文の「孝経」全文が刻まれてあります。

は「孝経」巻名を磨き、備えさせたといわれます。またその後は皇太子の讀書短札も孝経が用いられるようになった。

孝経は古文と今文との、標があります。碑になっているのは

遠藤隆吉

すゝもので、これが日本に伝来し
た年代は不明ですが、継体天皇の
ころ（西暦707）に伝えられた

碑

教育家